



# 高西小だより

学校教育目標

夢を切り拓く

心豊かで

たくましい子ども

H23, 10, 26(水) 校長:古屋 N013

## 秋の旬って何？

最近、テレビでは、秋の旬を伝えるニュースが盛んに放映されています。全国的にはサンマやカキなど、山梨ではぶどう、竜王では名産の「八幡芋」、北杜では米でしょうか。毎年、この秋の旬が紹介されると本格的な秋の深まりを感じさせてくれます。西小でも、先日、1年生と2年生と一緒に八幡森でたくさんのドングリなどの木の实を拾いに出かけました。また、玄関で朝の挨拶を交わしていると、柿や梨を手にする子どもたちの姿もありました。「その梨どうしたの？」と聞くと照れくさそうに笑いながら無言で通り過ぎました。・・・？。西小の子どもたちは、日々の生活の中で、本物の「秋の旬」を体験的に学んでいるなど感じます。

一方で、先日、「10月の旬は何？」というテレビ番組がありました。野菜から魚、果物などたくさんの写真から選ぶのですが、これがなかなか当たらないのです。それもそのはずです。その多くは年間を通していつも目にするものばかりだからです。例えば、「きゅうり」や「トマト」はどうでしょうか。今や一年中目にすることができますね。でも、本当は夏野菜なのです。この番組の中で、稲刈りの後、田を耕し、麦を蒔き、冬休みには麦踏みをしてお小遣いを貰った私にとって、「麦」を10月の旬として選んだのには何かしらさみしい感がありました。そして、生活体験の大切さを今更ながら強く感じました。

日本の素晴らしい四季を体感すること、その季節ごとの「旬」を五感を通して知ることは、環境問題だけではなく、新たな発見や驚きを通して、子どもたちの心の成長にも大きな役割を果たします。

変わりゆく季節。今だからこそこの「秋の旬」を家族で話し合ったり見つけたりしては如何でしょうか。

## 手話を学びました！

10月7日、JA手話サークルの皆さんが、4年生に手話を教えてくれました。家族や自分の名前を指で表したり、もみじの歌を手話で歌ったりしました。その日、早速、教わった手話で給食の時のあいさつを交わしていました。



永関雅恵先生やサークルの皆さんと一緒に手話でお話しました。

## 約1000年前に作られた六ヶ村せぎ！（4年生）

10月18日、六ヶ村せぎウオークが行われました。今年は、東小と一緒にしました。まずは、村山六ヶ村せぎ土地改良区の組合員さんや中北農務事務所の方々の案内で重要な水源である川俣川東沢の「吐竜の滝」を見学しました。ここからは、理事の小池地区の中村勝一様に六ヶ村せぎの成り立ちや歴史について説明していただきました。

村山六ヶ村せぎは、八ヶ岳の広大な南麓に広がる旧村山北割村、村山西割村、村山東割村、蔵原村、小池村、堤村の六ヶ村の灌漑用水、生活用水として作られたせぎです。せぎが作られた年代は、土地改良区に残されている資料や、その他の資料でも明らかになっていませんが、10～11世紀のおよそ千年くらい前にさかのぼると言われています。北巨摩地方の三大せぎといわれる徳島せぎ、朝穂せぎ（浅尾・穂坂堰）、楯無せぎが江戸時代に入ってから作られたことから、村山六ヶ村せぎの歴史的価値がうかがえます。



「せぎ」は、米や野菜を作るために重要な役割を果たしていますが、その他にも、防火用水や洪水を防ぐ役割もあります。そして、何よりも、森林や動植物等の自然環境の保全によって、私たちの生活環境を豊かにしています。

西小でも、感謝の気持ちを持って、畑の野菜作りをしていきたいですね。

東沢取水口はすごい水量です。ずい道をのぞくと西沢方面の明かりが見えました。

# ハケ岳の大自然を満喫！(自然教室 10月13~14日)

5年生の自然教室が県立ハケ岳少年自然の家を舞台に行われました。

1日目は、長野県平沢から飯盛山登山をしました。あいにく雲がかかってしまって、360度のパノラマとはいきませんでした。1643mの頂上の寒さや時々雲間から見える野辺山高原の姿の雄大さに驚きと感動を全身から感じ取りました。そして、帰りに食べた清泉寮のソフトクリームの味は、寒さに関わらず格別のようなでした。

夕食は、カレーライスとサラダです。キャンプ場の炊事場を使って、班ごと仕事を分担して作りました。火加減が良かったせいか、どの班もとても美味しいカレーが出来上がりました。

夜は、ナイト追跡をしました。普段は真っ暗な夜は禁物ですが、この夜に限っては、班ごとに懐中電灯1つで光るポイントを探しながらコースを歩きました。出発前の教頭先生の怖い話や途中で現れるオバケ?に子どもたちの甲高い声が響いていました。

2日目は、自然の家のメインプログラムである冒険ハイクを行いました。中でも、谷を友だちと一緒に籠に乗って渡るケーブルサーキットでは、大きな歓声が上がっていました。

この2日間の自然体験、宿泊体験は、自然環境に対する理解や自立心を養い、協力し合う大切さ等を学ぶ良い機会になったことと思います。



やったー！ 1643mの頂上だ！



冒険ハイクの木登りとりに挑戦！



ケーブルサーキットは最高！



煮え具合はいいぞ！



まいう～



この後、ソフトクリームが大変なことに！

## ◎17日の解団式で3人が感想発表しました。

私は、初めていろいろな事を自然から教えてもらいました。飯盛山登山もつべんまで行きました。とても寒くてご飯も食べられないくらい寒かったです。それで、つべんで「ヤッホー」って叫びました。気持ちよかったです。野外炊事では、おいしいカレーが出来ました。うれしかったです。ナイト追跡では、初めはこわかったけど、驚かされる内に怖くなくなりました。以外と楽しかったです。寝る時は、普段と違って楽しかったです。冒険ハイクでは、ケーブルサーキットで、思いっきり回してもらって楽しかったです。やまねミュージアムで記念にはんこやバッジをもらってうれしかったです。あつという間に終わってしまいました。また、行きたいくらい楽しめてよかったです。友だちがすごく大事だなと感じました。

(中村 楓)

私は、飯盛山に初めて登りました。途中でつかれてしまいましたが、頂上に行ったら気持ちよかったです。少し雲でまわりはきれいに見えなかったけど満足です。野外炊事で、おいしいカレーができてよかったです。ナイト追跡は、最初の教頭先生の話し怖かったけど、みんなで校歌を歌いながら行って楽しかったです。ハケ岳自然ふれあいセンターとヤマネミュージアムでは、ヤマネやシカなどの生物のことがわかりました。飯盛山登山など普段できない経験ができてよかったです。帰りにシカを見ました。ビックリしました。たくさん思い出ができてよかったです。来年の修学旅行が楽しみです。

(榎林 彩花)

飯盛山に登りました。大変だったけど、楽しかったよ。山に登ってお弁当を食べ、とてもおいしかったです。自然の家に行つて、冒険ハイクは、少しこわかったです。冒険ハイクを全部やりたいと思いました。夜は、あまりねむれなかったです。次は、しっかりねむれるようにしたいです。

(縄谷 優人)